

親子で楽しい絵本コーナー



文：中川 ひろたか
 絵：村上 康成
 出版社：童心社
 秋といえば食欲の秋！芋ほり遠足とか、おばあちゃんの畑で芋ほりしたよ！というお子さんも多いのではないのでしょうか。
 子どもとお芋の綱引き大会は子どもの勝ち！でも、お芋の力はまだまだ・・・。
 焼き芋が食べたくなるね。



作：いわむら かずお
 出版社：童心社
 14ひきシリーズは、12巻ありますが、中でも「14ひきのあきまつり」は、秋の色をたっぷり感じることができる絵本です。
 この絵本を読んで野山に出かけるきっかけになれば、うれしいです。
 集めた枯葉の上に寝そべって、葉っぱのにおいやカサカサした音やふわふわ感、虫の発見など、自然の中で、体験して感じたことは、心のキラキラを増やしてくれるように思います。

10月末までの各町の状況

	依頼会員	提供会員	両方会員	計	活動累計
大台町	49人	43人	7人	99人	0件
玉城町	99人	44人	5人	148人	11件
南伊勢町	12人	12人	1人	25人	2件
大紀町	10人	21人	1人	32人	0件
度会町	15人	17人	2人	34人	0件
計	185人	137人	16人	338人	13件

こんな内容で利用出来ます！！
 ・保育所・小学校・学童クラブの送迎やその開始前・終了後の預かり
 ・病児保育への送迎
 ・お母さんの休養、仕事、外出のための一時的な預かり
 ・習い事への送迎 他…



(特)三重県子ども NPO サポートセンター・みえ子育て支援緊急サポートネットワーク

南勢志摩地域センター

(玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町ファミリーサポートセンター)

TEL&FAX 0596-23-3938

〒516-0037 伊勢市岩渕2丁目3番13号

NPO 法人三重みなみ子どもネットワーク内

多気郡地域センター

(大台町ファミリーサポートセンター)

TEL&FAX 0598-22-1950

〒515-0084 松阪市日野町788 刈苅プラザ 1階

特定非営利活動法人松阪子ども NPO センター内

度会郡・大台町ファミサポニュース

2018年秋号

度会郡の4町(玉城町・度会町・南伊勢町・大紀町)と多気郡大台町の5町が連携し、(特)三重県子ども NPO サポートセンターに委託してファミリーサポート事業を実施しています。

平成30年度 交流会～参加者の感想～

9/17(祝・月) 午前大紀町 午後玉城町

今年度も災害を意識して、身近なものですぐに役立つような内容(パッキング・ケガの手当て)を親子で楽しみながら体験しました。

参加した子どもたちが絵を描いてくれたり、感想を手紙にしてくれました！

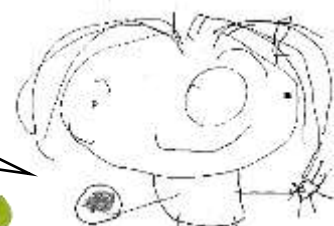
非常食のご飯だったけど、いつも家で食べているご飯ぐらいおいしかったです。けがの手あてはバンダナ(タオル)やタイツなどの身じかな物で簡単に手あて出来る事が分かりました。非難用のリュックにバンダナ(タオル)やタイツを入れてあてはいいけどもし非難をしないといけない時にあてて用意をしなくていいようにしたいです。

学んだことを生かそう！ 野口 詩奈

けがをしたとき、タイツやハンカチが役立つことが分かりました。なのでこれからポケットに入れておいていざというときに役立つと思います。ご飯をたくのも、わかめやかつお節などを入れたら味が違っておいしくなりました。今日の非常食のご飯もおいしかったです。ホットケーキミックスで作ったのもおいしかったです。野口 篤菜



ママと作ったご飯おいしかったよ。3回おかわりした。またおうちでもしてみたいな。(大台町 さくの 3才)



最近、地震が頻発しているので、災害時に備えるために今回の研修に参加しました。傷の手当ての研修では、ストッキングやバンダナでの止血方法を教えていただき、何もない場面でも、誰かは持っていそうな物でできることだったので、実際に役に立ちそうだと思います。手当ての資料があれば、災害時にもより思い出しやすく、あわてずに手当てができそうと思った。子どもがいるので、災害時のご飯のことを心配していました。少ない水と食糧でご飯が炊けたし、具を入れることでそれなりに栄養もとれそうなので、教えていただけて良かった。何より、子どもが喜んで食べてくれたので、少し安心しました。帰りに、早速缶詰やポリ袋等を買ってしまいました！いろいろと教えていただきありがとうございました。大台町 A. T.

今回初めて参加させていただきました。パッキングでは、洗っていないお米でもすごくおいしくご飯が炊けてびっくりしました。ポリ袋に紙コップで量った米と水を入れて鍋で30分あたためただけだったので、3才の娘も一緒にできました。「私が作ったご飯やよ」娘も得意気で、普段家で食べるご飯よりも、モリモリ食べてくれました。もし、災害が起こったときも楽しい調理とおいしいご飯で、気分転換ができそうです。防災講座では、バンダナとタイツを使用した傷の手当ての仕方を教えていただきました。どちらも、かさばらないものなので、ひとつカバンに入れておくと良いと思いました。この機会に、家の防災グッズの見直しをしたいと思います。他の参加者さんも、スタッフのみなさんもたくさん話しかけて下さり、楽しいひと時となりました。ありがとうございました。大台町 C. M.

今回初めて参加させていただきました。二重にしたビニール袋にお米と少し多めの水を入れて空気を抜いて口をしぼり、沸騰したお鍋で30分煮ると、ご飯が出来上がりました。美味しかったです。ライフラインが止まった時、ご飯が炊けることを学びました。その後の講座も分かりやすかったです。タイツやバンダナを使って、ケガをした所の応急処置の仕方を教わりました。参加してよかったです。大紀町 Y. S.

ファミサポ交流会に初めて参加させていただきました。
富内先生の手当の方法や救急法は、いざという時のために何度も聞いて身に付けておいたほうが良いと思いました。

『パッキング』は興味がありましたが、実際に体験したことはありませんでした。
私は、米に水と『さばのみそ煮』缶のさば1切れと煮汁を少し入れてみました。お湯に入れておくだけで簡単にでき、ポリ袋の上から三角おにぎりにして食べたらおいしくて驚きました。他に、ホットケーキミックスの蒸しパンや、瓶詰のなめたけを入れたご飯なども試食させていただき、いろいろ工夫できると思いました。この方法なら、あたたかい物が食べられて、食中毒の心配も少なく、1つの鍋で、ご飯の硬さや味の濃さや白ご飯と具入りなど、ある程度食べる人の好みに合わせて調理でき、飲料水や洗い物、ごみが少なくて良いと思いました。

「米を洗っていないことを知って、中には嫌がる子どももいるそうですが、パッキングを体験した子は食べられる」と聞いたので、子どもだけに限らずたくさんの方に体験してもらいたく思いました。

お世話していただいたスタッフのみなさん、ありがとうございました。楽しかったです。
提供会員 大紀町 中村たか子

ファミリーサポートセンター事業と知らずに参加しましたが、地域にこのような事業があることを初めて知りました。防災講座とは聞いていましたが何をやるのかも分からず少し不安になりながら参加しました。今、いろんな所で災害が起こっている中、災害に備える話を聞き、大変参考になりました。ポリ袋で作ったご飯は、とても美味しかったです。作り方は何度も聞いたことがありますが実際に作ったことはなく、今回初めてやってみて感動しました。又、日赤の富内先生のお話で、自分や子どもの身を守る身近にある物を利用した簡単な手当の方法（バンドナ、タイツ等を使ってのお話と実践など）を自分で体験出来てとても良かった！参加させていただきありがとうございました。

大紀町 K.N.

今年は地震があちこちで起こり、台風では自宅が何度も停電になり、不自由な生活を送りました。こんな時の知識や経験がない為、ちょうどいい機会だねと主人と3歳と1歳の娘と参加させていただきました。話を聞いたり見たりするより、今回のように実際に自分達でご飯を炊いてみたことは、経験となりました。

また、救命方法でも身近にあるもので代用をすれば、例え準備してなくても何とかできるのだと分かりました。また子ども達が動き回る中ではなかなか話を聞いたり、実践したりできないのですが、ファミサポの方が「面倒みてあげるから気にしないで聞いてきて！」と託児をしていただけて、本当にありがたかったです。

災害時備えて分かっているけど何をを用意していいか分からない...何も出来ないのでは...と不安に思っていたのですが、これからも参加させてもらうことで、減っていくように思います。

玉城町 山本

平成30年度提供会員養成講座

ファミリー・サポート・センター事業とは、子育てを助けて欲しい方（依頼会員）と子育てのお手伝いが出る方（提供会員）をコーディネートする事業です。子どもが好き、子どもと関わる活動がしたいと思っている方は、是非この機会に提供会員養成講座を受講してください。提供会員には常に新しい情報を知っていただくという意味でスキルアップに、子育て中の方や、お孫さんを預かっている方で、子育てに役立つ基礎知識を学びたい方も受講できます。

日程	講座内容	講師（敬称略）	時間
1/26 (土)	開講式・オリエンテーション 提供会員の役割と心得 子どもの権利	担当アドバイザー	9:50~ 10:00
		秋山則子：三重県子どもNPOサポートセンター副理事長	10:00~12:00
		田部真樹子：三重県子どもNPOサポートセンター理事長	13:00~15:00
1/27 (日)	子どもの遊び 心の発達/障害について	山野栄子：ユマニテク短期大学准教授 千草篤磨：高田短期大学こども学科学科長	10:00~12:00 13:00~16:00
2/2 (土)	保育の心 子どもの栄養と食生活	堀川美子：育児支援アドバイザー 馬場啓子：管理栄養士（元大学教授）	10:00~12:00 13:00~16:00
2/3 (日)	身体の発達と病気 小児看護の基礎知識	花田 基：花田小児科院長 岡田まり：瀬エネラス訪問看護ステーションほたるいせ管理者	9:30~12:30 13:30~16:30
2/9 (土)	子どものけがの予防と応急処置 講座をふりかえって (グループで話し合い) 会則・活動記録等の説明	富内直美：日本赤十字社三重県支部 度会町担当者 秋山則子：三重県子どもNPOサポートセンター副理事長 担当アドバイザー	9:30~12:30 13:30~15:30 15:40~16:10

会場：度会郡度会町役場（三重県度会郡度会町棚橋 1251-1 電話：0596-62-2413）

対象者：玉城町・度会町・南伊勢町・大紀町・大台町内および近隣市町に在住する
20歳以上の方で、受講後に提供会員として登録していただける方

募集人員：30名（先着順）

受講料：無料。ただし、テキスト代（2,500円）は受講者負担となります。

※今回、講座日程のすべてを一度に受講できない方は、ご相談ください。

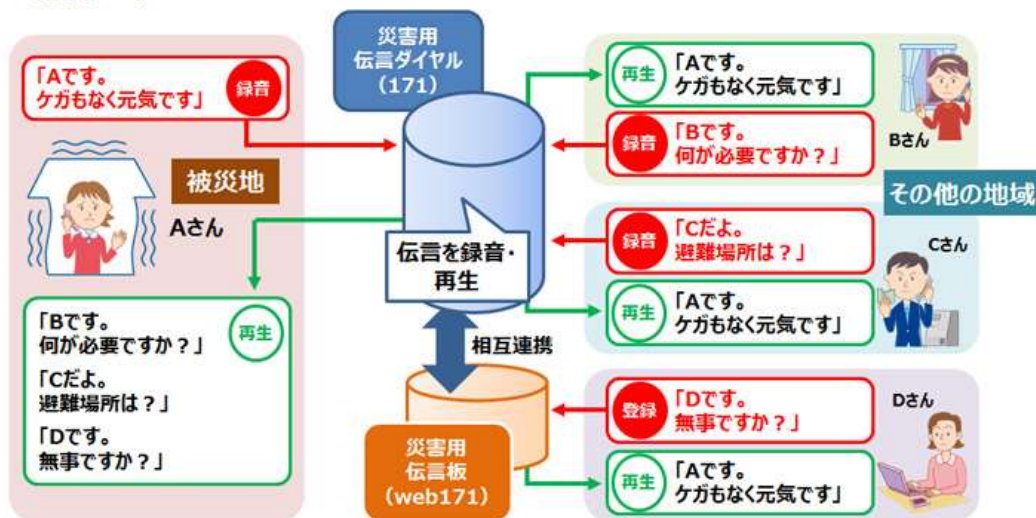
その他：託児をご希望の方は、申し込み時にご相談ください。（無料）



災害に備える⑤

援助活動中に地震や事故に遭ったとき、預かっている子ども、自分の無事をセンターに連絡をしていただく必要があります。活動中の会員へはセンターからも連絡は取りますが、地震等の災害発生時に、被災地の方の安否を気遣う通話が増加し、被災地への通話がつながりにくい状況（ふくそう）になることが考えられます。そんなときには、災害伝言ダイヤルをつかって安否を確認し合うことができます。今回は、災害伝言ダイヤルについて皆さんと一緒に考えたいと思います。

ご利用イメージ



NTT 西日本（インターネット）より引用

災害用伝言ダイヤル171

伝言を録音する場合

1 7 1 にダイヤルする
↓ ガイダンスに従って
録音の場合 **1** 暗証番号を利用する
録音は **3**
↓ ガイダンスに従って

被災地の方の電話番号 市外局番から 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

↓ ガイダンスに従って
ブッシュ回線の場合は **1 #**
ダイヤル回線の場合はダイヤル不要

↓ ガイダンスに従って
30秒以内で録音をする

伝言を再生する場合

1 7 1 にダイヤルする
↓ ガイダンスに従って
再生の場合 **2** 暗証番号を利用する
再生は **4**
↓ ガイダンスに従って

↓ ガイダンスに従って
ブッシュ回線の場合は **1 #**
ダイヤル回線の場合はダイヤル不要

↓ ガイダンスに従って
再生をする

災害伝言ダイヤルは、毎月1日・15日などの体験利用日が設定されています。ぜひ、家族・親戚・友人間で体験しておくといいですね。

また、子どもに、公衆電話の使い方を伝えたり、大人も今一度使い方の確認をしたりしておくことも大切なことだと思います。そして、何より大切なことは、家族との連絡方法の確認をしておくことだと思います。

平成30年度 全国アドバイザー講習会・交流会

平成30年10月4日に全国アドバイザー講習会・交流会に行ってきました。

はじめに厚生労働省子ども家庭局子育て支援課より、幼児教育無償化が閣議決定された事で、来年10月から、ファミリーサポート事業もその範疇に入ることになり、今までの考え方や個人やセンターの責任が変化することの説明を受けました。

また、基調講演では、早川恵子先生（都留文科大学講師）より、保護者の困り事をアドバイザーがどう受け止めていけばいいのかお話があり、また軽減していく方法を考えるグループワークがありました。

大紀町担当：鬼藤千代子

